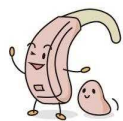


聴能だより



令和8年7月21日発行
新潟よつば学園 聴覚部



聴能週間がありました！



ろう教育部門では、毎年6月に聴能週間を設定しています。今年も、学部ごとに期間を決めて取り組みました。様々な活動を通して、自分の聞こえや耳を大切にするとともに、補聴器・人工内耳について、改めて理解を深めることができました。

幼稚園部

幼稚園部では、自分が使っている補聴器・人工内耳の正しい取り扱い方を知り、小学生になるまでに一通りの管理ができるようになることを目指しています。

聴能週間では、担任が一人一人の実態に合った目標を設定しました。ご家庭とも連携し、「ほちょうき・じんこうないじカード」を使い、毎日確認しました。

入学して間もない3歳児は、毎朝ご家族と一緒に、電池チェッカーを使い残量の確認をしました。電池切れの心配なく、1日安心して活動することができました。5歳児は、自分でクリーニングに挑戦しました。これから暑い日が続きます。きれいな補聴器・人工内耳で気持ちよく過ごすことができますね。



小学部

小学部では、補聴器・人工内耳の手入れに関するチェックリストを用意し、担任と一緒に改めて自分の機器の状態を確認しました。子供たちは、普段から自分で手入れをしているので、慣れた様子でスムーズに確認していました。

聴能週間中の児童集会では、機器の部位の名称クイズに挑戦後、「本当にあった大ピンチ」として、「(機器の) 音が出ない」「電池が取れない」「イヤモールドにひびが入った」などの場面を取り上げ、それぞれ適切な扱い方や対処法を確認しました。「機器の外し方」「電池の正しい入れ方」「ぬれた時の対処法」など、子供たちはしっかり覚えて、集会後、早速気を付けて機器を扱う姿が見られました。

【本当にあった大ピンチ！】

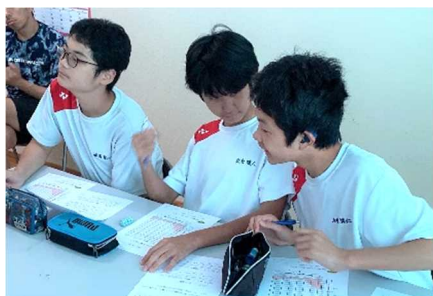
- ①「音が出ない！」
- ②「イヤモールドにひび！」
- ③「電池がとれない！」
- ④「急な雨でぬれた！」
- ⑤「休日、家で外している？」



中学部

中学部では、学校や病院で検査をした際にもらう「オーディオグラム」について学習しました。目にする機会はあっても、見方を知っている生徒は意外と少ないことが分かりました。将来的には、進学や就職の際に、自分の聞こえについて説明し、周囲の人に理解を求めていく必要があるかも知れません。「できる環境」や「困る場面」について知っておくことで、自身でも工夫や調整を図っていくことができるようになります。

補聴器や人工内耳(スピーチプロセッサ)のメンテナンスについては、よく理解できていました。汗や湿気で故障の多い時期です。手入れをこまめにしましょう！



高等部

聴能週間の授業では、耳の器官の名称や耳のしくみについて学習しました。耳の模型を見ながら器官の位置を確認したり、耳のしくみについて知っていることを発表し合ったりしました。その後、各学級で毎年恒例の補聴器と人工内耳のお手入れチェックをしました。イヤモールドにヒビが入っていたり、チューブが固くなっていたりした生徒もいたので、定期的に確認をしましょう。また、乾燥剤が古いと乾燥されません。乾燥剤のチェックもお忘れなく！



保護者の皆様

アンケートへのご協力

ありがとうございました。

補聴器店 お盆期間のお休み

【エイド】 8/13(水)～8/15(金)

【プレヒア】 8/10(日)～8/15(金)

【マキチエ】 8/9(土)～8/17(日)